

奏功事例紹介

事例1 電気ストーブの近くにタオルを干したまま外出…

隣に住む住人が、寝室に設置されていた住宅用火災警報器の警報音に気づき、すぐに119番通報したため、大きな被害には至らなかった。

事例2 コンロの火をつけっぱなしに…

居住者が、台所に設置されていた住宅用火災警報器の警報音に気づき、すぐにコンロの火を消したため、火災には至らなかった。

事例3 たばこの不始末…

居住者が、居室に設置されていた住宅用火災警報器の警報音に気づき、すぐに水をかけたため大事には至らなかった。

住宅用火災警報器の維持管理について

定期的な作動確認

- ・点検ボタンを押すか点検ひもをひっぱり、定期的に作動確認をしましょう。
- ▶ 作動確認をしても住宅用火災警報器に反応がなければ、本体の故障か電池切れです。本体又は電池を交換しましょう。

古くなったら交換

- ・火災警報以外の警報が鳴った場合
- ▶ 住宅用火災警報器本体の故障か電池切れです。本体又は電池を交換しましょう。

電池切れと判明した住宅用火災警報器が設置から10年以上経過している場合は、内部の電子機器が劣化しているおそれがあるため、本体の交換をおすすめします。

お問い合わせ・ご質問は

羽生市消防本部 予防課 (TEL 048-565-1234)